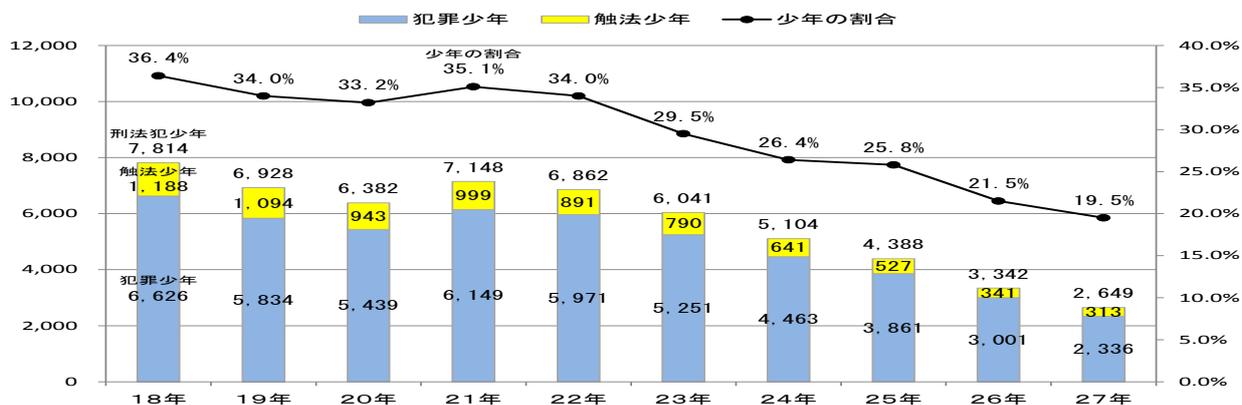


少年非行情勢（平成 27 年中）

1 刑法犯少年

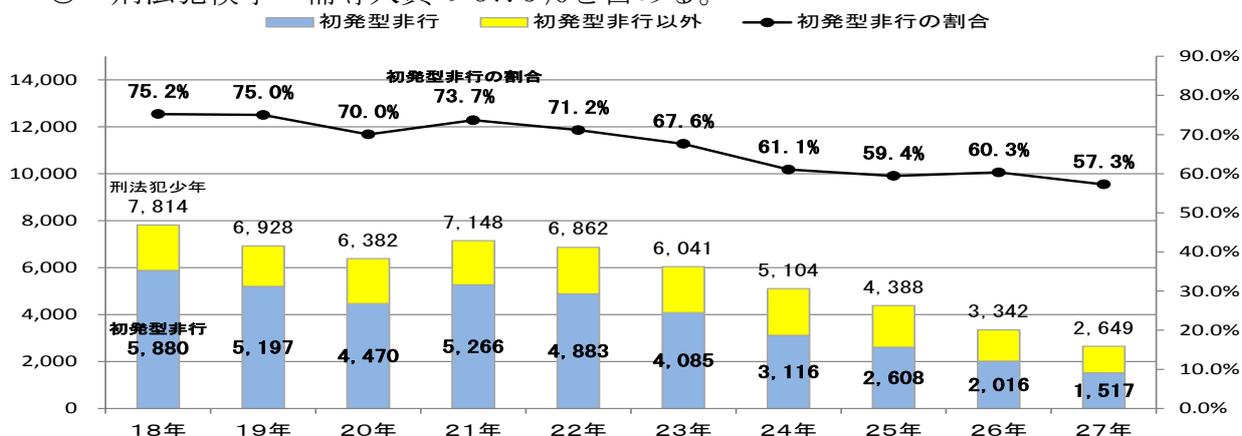
(1) 検挙・補導人員

- 検挙・補導人員は 2,649 人（前年比-693 人、-20.7%）
- 犯罪少年の検挙人員は 2,336 人（前年比-665 人、-22.2%）
- 触法少年の補導人員は 313 人（前年比-28 人、-8.2%）
- 少年の占める割合が 19.5%（前年比-2.0 ポイント）



(2) 初発型非行

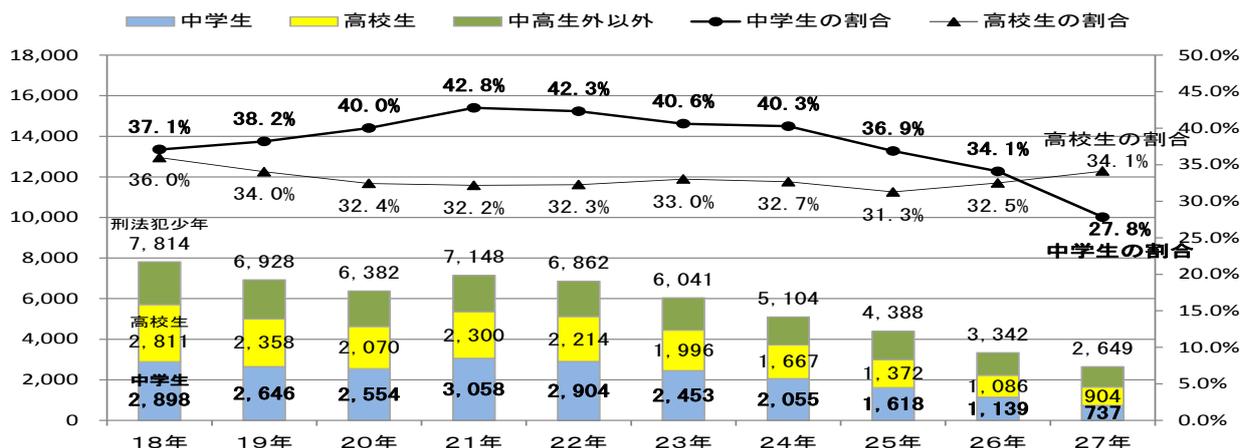
- 初発型非行の検挙・補導人員が減少（前年比-499 人、-24.8%）
- 刑法犯検挙・補導人員の 57.3% を占める。



※ 初発型非行とは、万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領罪の 4 罪種をいう。

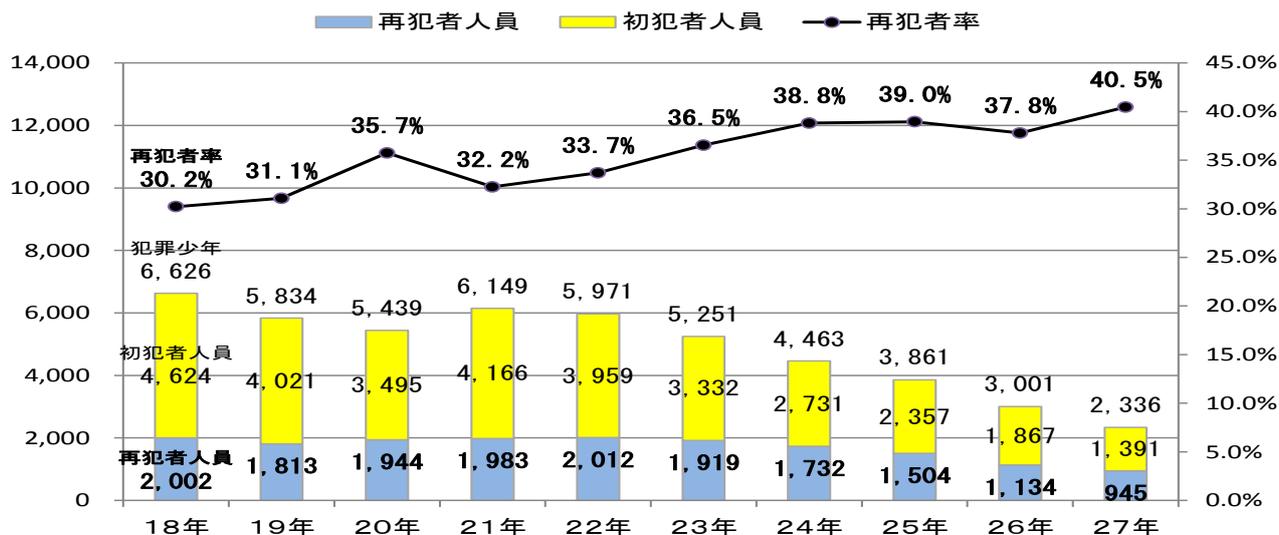
(3) 中学生、高校生の割合

- 中学生が全体の 27.8%（前年比-6.3 ポイント）
- 高校生が全体の 34.1%（前年比+1.6 ポイント）



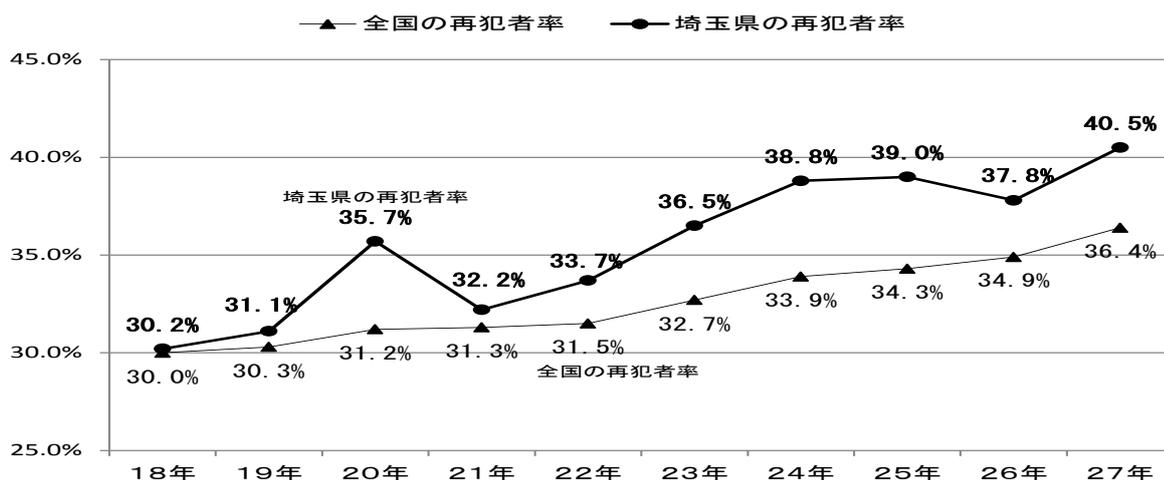
(4) 再犯者の割合（犯罪少年）

- 犯罪少年の再犯者率は 40.5%（前年比+2.7 ポイント）



(5) 全国の再犯者率との比較

- 全国の再犯者率は 36.4%（前年比+1.5 ポイント）
- 埼玉県の再犯者率は全国よりも高い割合で推移



2 不良行為少年

- 不良行為による補導人員 38,264 人（前年比-6,600 人、-14.7%）
- 喫煙、深夜はいかいで全体の 80.3%を占める。

